

# 平成25年度予算見積調書

課室名 交通政策課  
担当名 鉄道担当

内線 2227

単位：千円

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業																																								
B24	駅ホームの転落防止対策推進事業費		一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費																																								
事業期間	平成25年度～平成29年度	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		戦略項目分野施策	050202 便利な公共交通網の整備																																									
1 事業の概要			5 事業説明																																												
<p>駅ホームからの転落事故等を防止するため、ハード施策として、一部の駅をモデルにホームドアの設置経費を補助するとともに、利用者の多い駅等について、点状ブロックの整備経費を補助する。</p> <p>さらに、ソフト施策として、特に事故に遭いやすい視覚障害者への声かけ・サポート方法について普及啓発を行う。</p> <p>(1) ホームドア設置促進モデル事業 4,650千円 (2) 点状ブロック整備促進事業 25,000千円 (3) 声かけ・サポート啓発事業 800千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ホームドア設置促進モデル事業 4,650千円 ホームドア設置のための技術的課題調査（ホーム改良のための測量・地質調査）に対する補助（東武東上線川越駅2線・朝霞台駅4線を予定）</p> <p>イ 点状ブロック整備促進事業 25,000千円 利用者の多い駅（利用者数1万人以上）等での内方線付き点状ブロックの整備に対する補助（東武東上線若葉駅等4～5駅10線を予定）</p> <p>ウ 声かけ・サポート啓発事業 800千円 サポートリーダー講習会 各地域でサポート活動のリーダーとなることが期待される者（市町村の担当者、NPO関係者等）を対象に実施（20人×10回） ホーム上で視覚障害者への声かけを呼びかけるポスターの印刷・配布</p> <p>(2) 事業計画（平成26年度以降は見込）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ホームドア</td> <td>事業内容</td> <td>課題調査補助 (2駅、6線)</td> <td>設計費補助</td> <td>ホーム改良工事補助</td> <td>ホームドア設置工事補助</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>4,650</td> <td>10,000</td> <td>390,000</td> <td>400,000</td> <td>-</td> <td>804,650</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">点状ブロック</td> <td>事業内容</td> <td>整備補助 (10線)</td> <td>整備補助 (20線)</td> <td>整備補助 (40線)</td> <td>整備補助 (40線)</td> <td>整備補助 (40線)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>25,000</td> <td>50,000</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>375,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>ホームドア：約400,000千円／1線（県負担1／3 約133,333千円／1線） 点状ブロック：約15,000千円／1線（県負担1／6 約2,500千円／1線）</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア モデル事業実施によるホームドア設置気運の醸成 イ 視覚障害者の転落事故減少 ウ 視覚障害者への声かけ・サポートを行う県民の増加</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村・NPO等を通じて、視覚障害者へのサポートを行う県民の増加を図るとともに、鉄道事業者や各種団体等と連携して、効果的な広報活動を行う。</p>									H25	H26	H27	H28	H29	合計	ホームドア	事業内容	課題調査補助 (2駅、6線)	設計費補助	ホーム改良工事補助	ホームドア設置工事補助	-		予算額	4,650	10,000	390,000	400,000	-	804,650	点状ブロック	事業内容	整備補助 (10線)	整備補助 (20線)	整備補助 (40線)	整備補助 (40線)	整備補助 (40線)		予算額	25,000	50,000	100,000	100,000	100,000	375,000
		H25	H26	H27	H28	H29	合計																																								
ホームドア	事業内容	課題調査補助 (2駅、6線)	設計費補助	ホーム改良工事補助	ホームドア設置工事補助	-																																									
	予算額	4,650	10,000	390,000	400,000	-	804,650																																								
点状ブロック	事業内容	整備補助 (10線)	整備補助 (20線)	整備補助 (40線)	整備補助 (40線)	整備補助 (40線)																																									
	予算額	25,000	50,000	100,000	100,000	100,000	375,000																																								
2 事業主体及び負担区分																																															
<p>(1) 技術的課題調査（県1/2）事業者1/2 設計・工事 国1/3（県1/3）事業者1/3</p> <p>(2) 国1/3（県1/6）市町村1/6 事業者1/3</p> <p>(3)（県10/10）</p>																																															
3 地方財政措置の状況			なし																																												
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×1人=9,500千円																																												
要求額・審査額							一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額																																					
決	30,450						30,450	30,450																																							
要前	30,450						30,450	30,450																																							
	0						0			うち一財																																					

### 【審査の考え方】

駅ホームからの転落事故を防止するため、ホームドアの設置や点状ブロック整備等の必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成25年度予算見積調書

課室名 交通政策課  
担当名 鉄道担当

内線 2227

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業																	
B 2 5	緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費																	
事業期間	平成25年度～平成26年度	根拠法令	なし	戦略項目分野施策			05 大規模災害への備え 010502 震災に強いまちづくり																		
1 事業の概要	<p>首都直下地震などの大震災発災時に、緊急輸送道路が鉄道高架橋の倒壊により遮断されることを防止するため、当該道路と交差・近接する鉄道高架橋の耐震補強工事に対し、国と協調して補助する。 (国の補助制度は平成24年度創設)</p> <p>(1) 緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業費 12,667千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業費 12,667千円 緊急輸送道路と交差・近接する鉄道高架橋の耐震補強工事(鋼板巻付け等)について、国庫補助制度と協調し補助する。 ア 西武秩父線・一般国道140号交差部分 8,000千円 (第1次特定緊急輸送道路) イ 東武伊勢崎線・県道さいたま草加線交差部分 4,667千円 (第1次緊急輸送道路)</p> <p>(2) 事業計画 対象箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度補助金額</th> <th>平成26年度補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 西武秩父線 一般国道140号交差部分(秩父市日野田町地内) (第1次特定緊急輸送道路)</td> <td>8,000</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>イ 東武伊勢崎線 県道さいたま草加線交差部(草加市草加地内) (第1次緊急輸送道路)</td> <td>4,667</td> <td>21,333</td> </tr> <tr> <td>ウ 東武伊勢崎線 一般国道298号交差部分(草加市旭町地内) (第1次特定緊急輸送道路)</td> <td>—</td> <td>48,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,667</td> <td>69,333</td> </tr> </tbody> </table> <p>(国の補助制度対象は上記3地点のみ)</p> <p>(3) 事業効果 大地震発災時における緊急輸送道路の遮断を防止し、応急復旧活動を円滑化する。</p>								平成25年度補助金額	平成26年度補助金額	ア 西武秩父線 一般国道140号交差部分(秩父市日野田町地内) (第1次特定緊急輸送道路)	8,000	—	イ 東武伊勢崎線 県道さいたま草加線交差部(草加市草加地内) (第1次緊急輸送道路)	4,667	21,333	ウ 東武伊勢崎線 一般国道298号交差部分(草加市旭町地内) (第1次特定緊急輸送道路)	—	48,000	合計	12,667	69,333
	平成25年度補助金額	平成26年度補助金額																							
ア 西武秩父線 一般国道140号交差部分(秩父市日野田町地内) (第1次特定緊急輸送道路)	8,000	—																							
イ 東武伊勢崎線 県道さいたま草加線交差部(草加市草加地内) (第1次緊急輸送道路)	4,667	21,333																							
ウ 東武伊勢崎線 一般国道298号交差部分(草加市旭町地内) (第1次特定緊急輸送道路)	—	48,000																							
合計	12,667	69,333																							
2 事業主体及び負担区分	国1/3 (県1/3) 事業者1/3																								
3 地方財政措置の状況	なし																								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.3人=2,850千円																								
要求額・審査額							一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額															
決	12,667						12,667	12,667		うち一財															
要前	12,667						12,667	12,667																	
	0						0																		

—企画財政部・B25—

### 【審査の考え方】

大地震発生時における緊急輸送道路の遮断を防止し、応急復旧活動を円滑にするため、緊急輸送道路と交差する鉄道高架橋の耐震補強工事の必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成25年度予算見積調書

課室名 地域政策課  
担当名 地域振興担当

内線 2769

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B39	市町村振興事業特別会計			市町村振興事業	市町村振興事業費	市町村振興事業費	市町村振興事業費及び基金積立金	市町村振興事業特別会計			
事業期間	平成13年度～	根拠法令	市町村振興事業特別会計条例			戦略項目分野施策	-----				
1 事業の概要	<p>自立を目指す市町村の主体的な取組を促進するため、埼玉県ふるさと創造資金、埼玉県ふるさと創造貸付金による総合的な財政支援を、市町村振興事業特別会計を通じて実施する。</p> <p>(1) 埼玉県ふるさと創造資金 1,300,000千円 (2) 埼玉県ふるさと創造貸付金 6,000,000千円 (3) 繰出金 6,112,021千円 (4) 積立金 60,248千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 埼玉県ふるさと創造資金 1,300,000千円 (H24: 1,600,000千円) 自立を目指す市町村の主体的かつ計画的な取組を支援するもので、地域資源や市町村の強みを活かした地域づくり事業などに補助金を交付する。</p> <p>イ 埼玉県ふるさと創造貸付金 6,000,000千円 (H24: 6,000,000千円) 市町村が日本一のふるさとづくりを推進するために行う、緊急性や重要度の高い公共施設などの社会基盤の整備に対して貸付を実施する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉県ふるさと創造資金(補助金額: 13億円)</p> <p>(ア) 市町村による提案・実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある地域づくり事業</li> <li>・県重点政策連動事業(三大プロジェクト等の県重点政策との連動)</li> </ul> <p>(イ) 市町村と地域団体との協働事業</p> <p>(ウ) 広域連携支援事業</p> <p>(エ) アセットマネジメント推進事業 0.10億円</p> <p>(オ) みんなに親しまれる駅づくり事業 0.81億円</p> <p>(カ) 浄化槽市町村整備型モデルタウン事業 0.36億円</p> <p>(キ) 権限移譲特別推進事業 0.30億円</p> <p>(ク) 市町村緊急支援事業 1.45億円</p> <p>イ 埼玉県ふるさと創造貸付金(貸付枠: 60億円)</p> <p>(ア) 財政融資資金金利△1.0%枠 20億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三大プロジェクト等の県重点政策の施策目的に合致する事業等</li> </ul> <p>(イ) 財政融資資金金利枠 40億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付税措置のない地方債を振り替えるとき等</li> </ul> <p>※(ア)、(イ)ともに12年償還(うち据置2年)もしくは5年償還(うち据置1年)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>地域資源や市町村の強みを活かした地域づくり等、市町村による主体的・計画的な事業が進展することにより、市町村の自立的発展が期待できる。</p>							
2 事業主体及び負担区分	<p>(1) 事業主体: 原則として市町村 負担区分: (県1/2) 市町村1/2</p> <p>(2) 事業主体: 市町村及び一部事務組合 負担区分: 充当率10/10</p>			<p>9.98億円</p>							
3 地方財政措置の状況	なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×3人=28,500千円										
要求額・審査額	財産収入	繰入金	繰越金	諸収入			一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額	
決	13,472,269	60,247	7,300,000	1	6,112,021		0	△42,195	22 13,694,136 (0)	13,514,464	
要	13,472,269	60,247	7,300,000	1	6,112,021		0	△42,195	23 13,692,650		
前	13,514,464	66,519	7,600,000	1	5,847,944		0		(0)		

－企画財政部・B39－

### 【審査の考え方】

自立を目指す市町村の主体的な取組を促進するため、裁量性の高い補助金及び貸付金により市町村を支援することの必要性を認め、要求額を措置した。